

1 小単元名 「低い土地の暮らし」(7時間)

2 小単元の目標

我が国の国土の様子と国民生活について、地形などに着目して地図帳や各種の資料で調べ、まとめ、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色のある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境と国民生活との関連を考え、表現することを通して、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| ① 地形などについて、地図帳や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然条件からみて特色ある地域の人々の生活を理解している。 ② 調べてことを白地図や文にまとめ、人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。 | ① 地形などに着目して、問いを見出し、自然条件から見て特色のある地域の人々の生活について考え、表現している。 ② 特色ある地域の自然条件と人々の生活や産業を関連付け、国土の自然環境と国民生活との関連を考え、適切に表現している。 | ① 我が国の国土の様子と国民生活について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習してきたことを基に、日本各地の暮らしの様子を予想し、他地域への興味、関心を高めている。 |

4 単元について

(1) 学習指導要領上の位置付け

本単元は、学習指導要領に第5学年の内容(1)に基づいて設定する。

| |
|---|
| <p>(1) 我が国の国土の様子と国民生活について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア(イ) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解していること。</p> <p>ア(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。</p> <p>イ(イ) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。</p> <p>(内容の取扱い) イの(イ)の「自然条件から見て特色ある地域」については、地形条件や気候条件から見て特色ある地域を取り上げるように配慮すること。</p> |
|---|

(2) 教材について

子供が「自然環境に適応して生活している」人々がいることを理解するために、本性単元では地形条件から見て特色のある地域を扱う。事例地として、河口近くの川に囲まれた低地という地形ながら、江戸時代より水害を防ぐための取組や豊かな水を生かした取組が行われている海津市を取り上げる。地図帳や現地の写真資料等を活用して地形に着目しながら調べることで、海津市が河口近くの川に囲まれた低地を有していることについて理解できるようにする。自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉えるために、年表、水屋などの建物や工夫した水田の写真、統計資料などを準備するとともに、海津市のホームページの情報も活用することで、地形に着目して海津市の人々の生活について調べることができるようにする。

また、本実践においては「まとめる」段階を2時間で計画をした。国土単元と食糧生産以降の単元を繋ぐ1時間という位置付けと捉えた。気候に特色がある地域の学習と地形に特色がある地域の学習において、「学習した地域に生活している人々は、地形条件や気候条件の特色を生かして生活している」ことを知識として獲得している。本時のまとめる②では、既習事項である地形条件や気候条件に着目しながら、改めて日本の様々な地域について日本の地形図、雨温図を活用して見直していく活動を行う。「同じ寒い地域でも、山地と平地では盛んな産業は違うのかな。」「低い土地だと平野が広がっているから農業が盛んではないか。」といった予想を話し合う、対話的な活動を通して、これから学習する産業学習についての興味や関心が高まると共に、地形条件や気候条件に着目した見方や考え方を働かせながら学習を進められるようになることを考えた。

5 単元構想

【本単元につながる子供の学習経験】

前小単元「寒い地方の暮らし」では、北海道を事例地として取り上げ、寒い気候を生かした農業や観光業、寒さに適応した生活（工夫や対策）の3つの視点で、調べ学習を行った。思考ツール（Vチャート）を使って調べたことをまとめ、学習問題を解決する活動を行っている。本小単元でも調べ方やまとめ方は同様に行い、より子供主体の学習を展開できるようにする。

【研究内容1】

主体的に問いを追究する工夫に向けて

①子供の思考に基づいた問いの構成
 本小単元では、学習問題を解決した後、「まとめる②」を設定している。海津市では、地形に合わせて生活しているという中心概念を獲得した後、導入時から比較して考えている寒い土地との共通点を整理する。そこで、どちらも自然環境に適応して生活しているという概念を獲得する。そこで出ると予想される「他の地域はどのようなのだろう。」という、子供たちの思考に合わせた問いから、日本全体に視野を広げ、考えさせる活動を行う。最後に、「産業と自然環境は関係しているだろうか。」と問いかけることで、その後の産業学習においても、自然環境との関わりを意識できるようにする。

②主体的に学習に取り組む態度の育成
 前小単元と同じ視点で調べていくため、教師が全ての活動を指示するのではなく、子供が教科書、図書資料、タブレットを活用したインターネット資料など、資料を選択して調べられるような工夫をする。また、双方向授業支援アプリ「ロイロノート」の画面共有機能を活用して、1時間の学習の「まとめ」や「ふり返し」を友達と学び合いながら、自分の考えを再構成できるように工夫した。

子供の主体的な問題解決の側面から

| 過程 | 想定される「問い」 | 子供に働かせたい見方・考え方 |
|----------|---|--|
| つかむ・みとおす | <ul style="list-style-type: none"> 海津市はどのような場所だろう？ <学習問題をつかむ問い> 北海道に住む人たちは気候に合わせて暮らしをしていたけど、海津市に住む人たちはどうだろう。 川の水を生かしている工夫はないのだろうか。 低い土地ではどうやって暮らしているのだろうか。 | 地形に着目して ← → 寒い土地の学習など既習の学習と関連付けて考えて ← → |
| 学習問題 | 堤防に囲まれた海津市に住む人々は、どの | |
| しらべる | <しらべる問い> 海津市にはどのような暮らしのくふうがあるのだろうか。 | ← → 水害からくらしを守る工夫に着目して |
| | <しらべる問い> 海津市に住む人々は、豊かな水を生かしてどのように農業をしているのだろうか。 | ← → 稲作や野菜作りの工夫に着目して低地の特色を生かした工夫に着目して |
| | <しらべる問い> 海津市に住む人々は、豊かな水を生かしてどのように観光業に生かしているのだろうか。 | ← → |
| まとめる | <特色や意味を考える問い①> 調べたことから共通して言えることはどんなことだろう。 | ← 調べた事象を比較して、共通性を総合して考え |
| | <特色や意味を考える問い②> <ul style="list-style-type: none"> 寒い土地と低い土地で共通していることやちがうことはなんだろう。 他の地域でも同じように、自然環境を生かしているのだろうか。 産業と自然環境は関係しているだろうか。 | ← 自然条件と関連付けて考え |

社会とつながり
 未来を創る子供

海津市でくらす人々は、地形の特色に合わせてくらしや産業の特色があることが分かった。それは、寒い土地でくらす人々と共通していて、どちらも自然環境に適応して生活していることが分かった。

【研究内容3】子供の学びを確実にする評価の工夫

- ・調べる時間の終末に、一時間ごとのまとめをYチャートに書き込む。そこで、学習内容を一人一人がどのように理解をしているのかを見取ってく。
- ・一時間ごとに分かったことから考えたことや自己の学び方について振り返る時間を設定し、自分がどのようなことを学んだのかを確実にできるようにする。

社会生活の確かな理解の側面から

| 見方・考え方を働かせる資料 | 子供が獲得できるようにしたい知識 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・屋根の上を走るトラック ・海津市の航空写真 ・海津市のハザードマップ | 岐阜県の海津市は、揖斐川、長良川、木曾川の木曾三川の下流にある。川の水面より低い土地が多く、輪中という堤防に囲まれている。 |

うに生活をしているのだろう。

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・千本松原 ・水屋 ・水防演習の様子や水防倉庫 | 海津市の人々は、昔から協力して水害から暮らしを守ってきた。水害の心配は少なくなってきたが今も水防訓練を行い、協力しながら水害の防止を心がけている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・埋め立て前後の水田の様子 ・農家の方の話 ・海津市の主な農産物の作付面積 | 海津市の人々は、流れる川の水を利用して農作物を育てるなど、豊かな水を農業に生かす工夫をしている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・海津市ぐるっとMAP ・海津市役所の方の話 | 海津市では、豊かな水や河川敷の自然などを利用した観光業を行っている。 |
| 海津市に住む人々は、「輪中」という堤防を築いたり川の流れを変えたりしながら水害から暮らしを守っていた。栄養分が多い土や豊かな水を利用した農業や、水を生かした観光を行うなど、水害を克服するだけでなく、地形の特色を生かした暮らしをしている。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地形図 ・雨温図 ・気候区分が分かる地図 | 寒い土地の地域も低い土地の地域も、自然条件に適応してくらしている。 <見方・考え方を働かせた予想> ・他の地域も同じように、自然条件に適応しながら暮らしているだろう。 ・食料生産や他の産業もきっと気候や地形は関係していると思う。 |

日本の他の地域でも同じように、それぞれの自然環境に適応してくらしているだろう。それは、農業や畜産、水産業など食料生産や他の産業にも関わっていると思う。これから調べていきたい。

【研究内容2】

見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

①見方・考え方を働かせた学習問題の設定と予想や学習計画の検討

前単元で、寒い土地に住む人々のくらしを学習している。学習問題の設定場面でも、寒い土地の学習や4年生で学んだ自然環境を保護・活用している小笠原の学習を想起させ、「海津市では地形に合わせてどんなくらしをしているのだろうか。」という問いをもたせる。

予想・学習計画の段階では、前単元と関連付けながら考えさせ、学んだ視点を生かして本小単元でも問いを設定して調べる計画を立てる。

②視点に着目して調べる活動

前単元で調べた「生活(工夫や対策)」「農業」「観光業」の3つの視点を生かして調べ学習を行う。同じ視点にすることにより、「寒い土地と同じように〜。」や「寒い土地と比べて〜。」といった異なる地域を比較する見方・考え方を働かせた記述が出てくることを想定している。

③比較・分類・関連付け・総合して特色や意味を考え合う活動

Yチャートに、それぞれの時間のまとめを書き溜めていく。「まとめる」段階で、それらのまとめを総合して考え、学習問題を解決する。思考ツールを活用することにより、それぞれの時間でまとめたことが一目で見えるようになり、共通点が考えやすくなる。Yチャートの活用は、子供の思考を整理する上で有効な手段となると考える。

社会とつながり
未来を創る子供

6 小単元の指導計画（全7時間）

| 過程 | ねらい (数字は時数) | 主な学習活動 (○) 問い (◆) 予想される子供の反応 (・) | ◎資料 【評価】 □教師の手立て |
|-----|---------------------------|---|---|
| つかむ | 海津市の地形の特色を理解し、学習問題を設定する。① | <p>○前小単元の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土の4分の3が山地で、平地が少ない ・日本の川は、流れが急で短い。 <p>○屋根の上を走るトラックの写真を見て、どのような特色がある地域なのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家より車が高いところを走っている。 ・低いところに家がある地域なのではないか。 ・車が走っている向こう側は斜面で土地が高い場所ではないか。 <p>○岐阜県海津市の位置と航空写真から、本時のめあてを確認する。</p> <p>◆海津市はどのような場所なのだろう。</p> <p>○海津市の航空写真から、海津市にはどのような特徴があると言えるか出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな川が3つも流れている。 ・川の水面より低い土地が多い。 ・輪中という堤防に囲まれている。 ・田んぼや畑があるから、農業が盛んではないか。 ・洪水の対策などをしていそう。 <p>○海津市のハザードマップを航空写真と比較しながら、海津市のような低い土地について疑問や調べたいことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどが真っ赤な危険地域だから、洪水の対策をしているのではないか。 ・これまでに災害はなかったのか、またどんな対策をしているのか。 ・田んぼや畑では、どんなものを生産しているのか。 <p>○話し合ったことをもとに学習問題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道に住む人たちは気候に合わせた暮らしをしていたけど、海津市に住む人たちはどうだろう。 ・川の水を生かしている工夫はないのだろうか。 ・低い土地では、どうやって暮らしているのだろう。 | <p>◎屋根の上を走るトラックの写真</p> <p>□写っている家・土地などの様子から、どの都道府県であるかを予想したり、地形の特色を推論したりできるようにする。</p> <p>◎海津市の航空写真</p> <p>□屋根の上を走るトラックが航空写真のどの位置であるかを確認し、周辺の土地の様子に気付くことができるようにする。</p> <p>□航空写真から分かることをもとに、産業や生活などについて着目し、問いを立てたり、推論したりできるようにする。</p> <p>◎海津市のハザードマップ</p> <p>□「屋根の上を走るトラックの写真」のような場所で災害(洪水)が起きたら?など投げかけることを通して、低い土地の暮らしの特色について関心をもったり、疑問をもったりできるようにする。</p> <p>【思判表①】発言・ノートなどの記述から「地形に着目して、問いを見出し低地に暮らす人々の生活について考え表現しているか」を評価する。</p> |
| | 学習問題に対する予想から学習計画を立てる。② | <p>○学習問題に対する予想を話し合い、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道でも雪や寒さへの備えをしていたから、洪水への何か対策をしていると思う ・北海道では、夏の涼しさや冬の寒さを農業に生かしていたから、海津市ではたくさんある水を農業に生かしていると思う。 ・北海道でも雪を観光に生かしていたから大きな川を生かしたお祭りや大会を開いて観光客を集めていると思う。 <p>学習計画 ①くらしの工夫 ②農業 ③観光業</p> | <p>□既習の学習と関連付けて学習問題の予想を考えさせる。</p> <p>◎「寒い土地の暮らし」で使った写真</p> <p>【態度①】ノートなどの記述から「海津市の様子とそこに住む人々について既習事項と関連付けて予想したり、学習計画を立てたりしているか」を評価する。</p> |

| | | | |
|-----|--|---|--|
| | <p>海津市に住む人々の水害に対する取組を理解する。③</p> | <p>○学習計画をもとに、本時の問いを確認する。 ◆海津市には、どのようなくらしの工夫があるのだろう。 ○予想を行い、調べる見通しをもつ。 ・水害からくらしを守るため、協力して堤防を築いたのではないか。 ・建物など、洪水に対応した造りになっているのではないか。 ○各種資料から、海津市のくらしの工夫について調べる。 ・堤防を造って、水害に備えている。 ・堤防などの備えによって、水害の発生が減った。 ・少しでも高い土地に家を建てたり、水屋を建てたりしている。 ・海津市と市民が協力して水防演習を行っている。 ○調べたことをYチャートに整理する。</p> | <p>◎千本松原（写真） ◎水屋の様子（写真・イラスト） ◎水害発生件数の推移（グラフ） ◎水防演習の様子（写真） □分かったことから、考えたことや自己の学び方について振り返るよう促す。 【知技①】 発言やノートなどの記述から「必要な情報を集め、読み取り、海津市に住む人々の水害に対する取組や、現在も水害への意識をもって生活していることを理解しているか」を評価する。</p> |
| 調べる | <p>海津市に住む人々が稲作や野菜づくりなどの農業に豊かな水を生かしていることを理解する。④</p> | <p>○学習計画をもとに、本時の問いを確認する。 ◆海津市に住む人々は、豊かな水を生かしてどのように農業をしているのだろう。 ○過去の稲作の様子について気づいたことを話し合い、現在の稲作について変化していそうなことを予想する。 ・昔は田んぼの中に舟がある。 ・現在もこうやって作業しているのかな？機械があるんじゃないか。 ・水害が減っているし、水を利用して農作業をしているのではないか。 ○各種資料をもとに、過去と現在の海津市の稲作や水田の様子を比較したり、農業の工夫を調べたりする。 ・水田を整備して、作業をしやすくした。 ・川の水を利用しやすくしている。 ・昔の田んぼには迷路みたいに水路が通っている。 ・現在は、排水機場ができて水はけがよくなり、農業が行いやすくなった。 ・大型の機械を使い豊かな水を管理している。 ・稲作だけでなく野菜づくりもさかんになった。 ○海津市の農業と地形（豊かな水？）には、どのような関係があるのかを考える。 ・海津市の農業は、流れる川の水を利用して農作物を育てている。 ・海津市に住む人々は、豊かな水を農業に生かす工夫をしている。 ○調べたことをYチャートに整理する。</p> | <p>◎海津市の昔と今の水田の様子（写真） ◎海津市の昔の稲作の様子（イラスト） □「海津市における昔の農業の様子が、地形条件とどのような関係があるのか」に着目させる。 【知技①】 発言やノートなどの記述から「必要な情報を読み取り、海津市では、豊かな水を農業に生かしていることについて理解しているか」を評価する。 ◎海津市の主な農産物の作付面積 □分かったことから、考えたことや自己の学び方について振り返るよう促す。</p> |

| | | | |
|----------------------------|---|--|--|
| | <p>海津市の人々が、観光業に豊かな水を生かしていることを理解する。⑤</p> | <p>○学習計画をもとに、本時の問いを確認する。 ◆海津市では、豊かな水をどのように観光業に生かしているのだろう。 ○資料から海津市の観光業の取組を調べる。 ・輪中の土手を利用したサイクリングコースを作っている。 ・大きな川を利用してヨットの大会を開いている。 ○海津市の観光業の特色について考える ・豊かな水や河川敷の自然などを利用した観光業を行っている。 ○調べたことをYチャートに整理する。</p> | <p>◎海津市ぐるっとマップ ◎海津市役所（観光協会）の人の話 □分かったことから、考えたことや自己の学び方について振り返るよう促す。 【知技①】 発言やノートなどの記述から「必要な情報を読み取り、海津市では、豊かな水を観光業に生かしていることについて理解しているか」を評価する。</p> |
| <p>ま と め る</p> | <p>表に整理してきたことを比較し、学習問題の結論を自分の言葉で説明する。⑥</p> | <p>◆海津市の人々のくらしや産業は、地形とどのような関わりがあるのだろう。 ○Yチャートから共通して言えることを話し合う。 ・観光業と農業は豊かな水を生かしている。 ・低い土地に合った生活をしている。 ○学習問題に対する自分の考えを表現する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>海津市に住む人々は、「輪中」という堤防を築いたり、川の流れを変えたりしながらくらしを守ってきた。また、栄養分の多い土や豊かな水を農業や観光業に生かしていた。水害からくらしを守るだけでなく、水を生かしたくらしをしている。</p> </div> | <p>◎調べる時間に作成したYチャート □既習の学習や調べてきたことを比較するよう促す。 【思判表②】 まとめの文章の内容から「低い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考え、適切に表現しているか」を評価する。 【知技②】 まとめの文章の内容から「海津市に住む人々は、自然環境に適応したり生かしたりしながら生活していることを理解しているか」を評価する。</p> |
| | <p>学習してきたことを基に、自然環境と国民生活のつながりを考え、次単元への興味・関心を高める。⑦</p> | <p>○学習してきたことを振り返り、寒い土地と低い土地の暮らしの共通点を考える。 ・寒い土地で暮らす人々も低い土地で暮らす人々も地形や気候などを生かした生活をしている。 ○日本の地形地図上に海津市や北海道の位置を示し、自然環境と国民生活のつながりを考える。 ◆日本の他の場所でも自然環境を生かして暮らしているのだろうか。 ○地図や雨温図を用いて、日本各地の産業の様子を予想する。 ・北海道では寒さを生かして農業を行っていたから東北地方でも農業がさかんだと思う。 ・標高が高い土地でどんな産業が～。 ○単元の振り返りを行う。</p> | <p>◎「寒い土地のくらし、低い土地のくらし」で作成したYチャート ◎日本地図 ◎雨温図 【態度②】 発言やノートなどの記述から「学習してきたことを基に、日本各地のくらしの様子を予想し、次単元への興味・関心の高まりが見られたか」を評価する。 □単元全体を通した自分の学び方について振り返るよう促す。</p> |

7 本時の学習

5年3組 世田谷区立烏山北小学校 主任教諭 渡辺 大介

(1) 本時のねらい

学習してきた国土の地形や気候の概要を基に、自然環境と国民生活のつながりを考え、他地域への興味・関心を高める。

(2) 本時の展開

| | ○主な学習活動 ・児童の予想される反応 | ◎資料 【評価】 □教師の手立て (番号は研究内容) |
|------------|---|--|
| つかむ (7分) | <p>○前時までの学習を振り返り、2つの事例地の共通点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海津市に住む人々は水害に対する備えをしながら暮らしている。 ・北海道に住む人々は冬の寒さを生かした観光業を行っている。 ・寒い土地で暮らす人々も低い土地で暮らす人々も地形や気候に合わせて、地形や気候を生かしたりしながら生活をしている。 <p>○問いを見出す。</p> | <p>◎「寒い土地の暮らし」「低い土地の暮らし」で作成したYチャート</p> <p>◎北海道の雨温図</p> <p>◎海津市の写真 ◎白地図</p> <p>□地形や気候の概要を振り返り、白地図上に北海道と海津市の位置を示し、「寒い土地」と「低い土地」で学習していったことを比較させ、共通点に着目させる。</p> |
| | <p>本時の問い：日本の他の場所に住む人々は、どのように暮らしているのだろうか。</p> | |
| しらべる (33分) | <p>○問いに対する予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本海側も寒いけど、北海道とは違った暮らしをしていると思う。 | <p>□一つの事例地を例として確認し、グループ活動に入りやすくする。</p> |
| | <p>○地形図と雨温図を用いて、日本各地の生活や産業の様子を予想する。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本海側は雪が多いから、北海道と同じで雪を生かした観光が盛んだと思う。 ・山地が多いということは、木も多いはずだから木を生かした産業をしているかもしれない。 ・日本の中央に火山が多いから何か対策をしているかもしれない。 <p>○グループの予想を共有する。(一斉)</p> <p>○Google Earthを用いて、1回目の予想についてさらに詳しく調べたり、共有して気になった地域を詳しく調べたりして、日本の各地域の生活や産業の様子を再度予想する。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京湾の周りに工場が多かったから、工業が盛んかもしれない。 <p>○予想したことを共有する(一斉)</p> | <p>□既習事項を基に予想を立てるよう促したり、予想するためにどのような資料が必要かを確認したりする。</p> <p>◎地形図(立体地図) ◎地図帳</p> <p>◎日本の気候区分と雨温図</p> <p>◎白地図</p> <p>□資料の読み取りにならないようにする。</p> <p>◎Google Earth</p> <p>□Google Earthを使って、予想に出てきていない地域を拡大したり、予想した地域の航空写真の様子を見たりして、自然環境と関わりがないかを予想させる。(1回目のグループ活動の段階で使い始めるグループ)</p> |
| まとめる (5分) | <p>○今後の学習の見通しをもつ。</p> <p>振り返りの問い</p> <p>【今日の授業で考えたことは何ですか。調べたいことは何ですか。】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>立体地図や雨温図を見て、日本の様々な地域の様子を予想してみて、緑の多い所は、農業が盛んで少ない所は工業が盛んなのではないかと考えた。</p> <p>自然環境を生かして生活しているのは日本のどの場所でも同じだと思う。</p> <p>農業や工業の学習でも、その土地の地形や気候に注目して調べていきたい。</p> </div> | <p>【態度②】発言やノートなどの記述から「学習してきたことを基に、日本各地の暮らしの様子を予想し、他地域への興味・関心の高まりが見られたか」を評価する。</p> |

<板書>

6 / 17 低い土地の暮らし

めあて 日本の他の場所に住む人々はどのように暮らしているのだろうか。

白地図

(既習してきた事例地を塗りつぶす)

海津市

豊かな水や低い土地を利用した農業や観光業

自然条件を生かしている

北海道

寒さや雪を利用した農業や観光業

予想

地形図

気候区分と雨温図

白地図

振り返り

- ・この授業で考えたこと。
- ・調べたいこと

グループ活動⑩の時に白地図セットを移動させる。
白地図に子供達が共有したことを教師は掲示用白地図に簡単に書き込んでいく。例) 米作り、水産業、観光・・・